



練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成28年度 第8号 平成28年12月22日発行

知識と知恵 ～ネット社会の危うさ～

校長 古山真樹

きみたちは人として生まれてからずっと、知識を蓄えながら育ってきたとも言えるでしょう。言語を獲得し、物の名前を覚え、脳を発達させてきました。さらに小・中学校において様々な分野の学習から膨大な知識を獲得してきています。この知識を獲得し、整理する過程で脳が鍛えられます。この脳を刺激し、鍛えることがとても大事なことで、より高度な思考を生み出す源泉になります。しかしながら、それだけでは足りません。蓄えた知識や経験を必要な場面に応じて活用できる力が必要です。それが知恵です。授業で獲得した知識を基礎・基盤にしつつ、学校生活・社会生活に生かせる力が知恵なのです。では知恵だけ発達させればいいのか。それはできません。たくさんの知識に裏打ちされた知恵でないと薄っぺらで幼い知恵に終わってしまいます。知恵はしっかりと知識の基盤があってこそ発揮されるものなのです。ですから、今きみたちは、様々な分野の知識をしっかりと獲得することが大事なのです。

さて、現代のネット社会では、「これが知りたい」ということを簡単に検索することができます。かつては、いくつもの辞書や百科事典を調べなければならなかったり、いくつもの書物にあたっても結論に到らなかつたりしたものです。そういう意味では、たいへん便利な社会になっているわけで、君たち中学生も実際に授業においてパソコン室で調べ物をしたりしています。しかしながら、それだけでは決して君たちの知識としては身に付いたことにはなりません。これはあくまでも情報収集です。そのやり方を知ることは大切ですが、その情報を取捨選択し何かに役立てる知恵が必要です。ここに危険があるわけです。何でもネットで簡単に検索では君たちの知識として定着せず、より高度な知恵も身に付きません。人としての生きる力を身に付けるためにも労を惜しまず、脳を鍛えていくことが大切なのです。学問に王道なしです。

今月の言葉

冬来りなば 春遠からじ

まず表面的な意味としては「冬が来たということは、春はもう遠くない、すぐ近くまで来ている」という意味です。先生はこれだけでも感激してしまいました。冬が来た、これからもっともっと寒さが厳しくなるというのに、春はそう遠くないところまで来ているという大きな視点、スケールの大きさに感激しました。目の前に春のお花畑が広がるような思いで、何か心がホッとするような感じになります。この言葉は、イギリスの詩人シェリーの「西風に寄せる歌」の一節だそうです。

さて、もちろんこの言葉にはさらに深い意味があります。冬はその厳しい寒さから人生の辛い時、試練の時にたとえられます。春は新学期、希望の時にたとえられます。ですから「人生の厳しい冬もいつまでも続くわけではなく、希望に満ちた未来がすぐ後ろに待っている」「今は不幸な状況にあってもいずれ幸せが巡ってくる」というたとえになります。とりわけ日本では受験の時期とも重なり、一層この言葉の意味が実感されるのではないのでしょうか。

長い人生の中では、本当に苦しい時もありますが、どんな時でも希望をもって、未来を信じて生きていくことが大切ですね。希望の春が開一中生全員にやってくることを祈ります。

オリンピック・パラリンピック教育 講演会

11月30日(水)元オリンピック代表選手(新体操)秋山エリカ様を講師にお迎えして、お話をさせていただきました。

『運動音痴のオリンピック』



子供の頃は病弱で、幼稚園もほとんど休んでいました。家で光の中にキラキラ光る埃を見るのが好きでした。だから、運動はしたことがなかったです。

小学校入学前に自転車の後ろに乗ったら、後輪に足が絡まって足首を骨折し、ギブスの生活が続いたため、ギブスが取れて歩き始めても、うまく歩けなかったの、親が心配してクラシックバレエを習いました。(バレエは小学校から中学まで9年間続け



(ロ - プ)

ました)

小学校に入学。授業で一番嫌だったのは体育です。特に運動会の「かけっこ」は大嫌いでした。いつもダントツのビリ。そのたびに、いつも先生に怒られました。3年生になって怒られる理由がわかりました。腕を振って走っていなかったのです。それから、腕を振って走るようにしたけれど、やはり運動は嫌いでした。

高校に進学。その学校には新体操部がありました。新体操は知らなかったのですが、クラシックバレエの要素があると聞いて、新体操部に入部しました。



(ボ - ル)

部員は経験者ばかりで、いつもミスばかり。ミス秋山と言われていました。部活を辞めたいのだけれど、「辞めます」と顧問の先生に言えなくて(小心者なので)嫌々続けていました。

高校3年生の最後の試合。ノーミスで演技をして、新体操はやめようと思っていました。

3つめの演技まではノーミス。最後の演技はフープ。順調に演技が進み、1分30秒の最後の技、「フープを投げて、キャッチして演技終了」のはずが、フープは遥か遠くに飛んでいってしまって返ってきませんでした。



(フ - プ)

新体操は辞めようと思っていたのですが、ノーミスで演技がしたいという気持ちで勝り、新体操のある大学に進みました。

新体操部員は実力のある人ばかり。部員数は130名。

しかし、顧問の先生が基礎から(勉強で言えば小学校1年生)1つ1つ教えてくださったのです。(高校の時は経験者ばかりで基礎的なことを教えてもらっていませんでした。)

試合に向けて選手を選ぶ試験が行われました。この時、ラッキーだったのは、ルールが変わり、バレエ的要素を多く取り入れた演技をした方が得点に結びつくとなり、試験内容は手具を使わず踊るだけでした。その結果、6人目(最後)の選手に選ばれました。



(リボン)

試合に出場しました。ビックリすることが起こりました。なんと、優勝してしまったのです。これはオリンピック代表選手を決める大会でもあり、オリンピックに出場することになったのです。マスコミはもっとビックリしたようで、無名の選手が優勝して、オリンピックへ。有力候補選手がたくさんいたのですから。

新体操を始めてから4年目でした。辞めずに基礎をコツコツと練習した成果だと思えます。

その後、世界の大会に出場するようになりましたが、なかなか結果が残せずにいました。そのため「どうせ背が低いから」等いじけた気持ちになっていました。

ある時、ブラジル選手の演技を見て頭をなぐられたような衝撃を受け、心を動かされました。当時、ブラジルは国が貧乏で新体操の手具も国に1つしかなかったのです。そのような状況でも選手は堂々と笑顔で演技をしていたのです。

『自分の力を100%だそう。選手に与えられた時間はすべて同じ。人と比べる必要はない。私のできることを精一杯やるだけ。』スッキリしました。

それから引退するまで、自分しかできない技に一生懸命に取り組みました。背が低いことを逆手にとって技をしたり等。そうしているうちに『秋山はおもしろい技をやるぞ』と言われるようになり、世界中の人が秋山を憶えてくれるようになったのです。』



(クラブ)

練馬区中学校駅伝大会

11月26日(土)練馬区中学校駅伝大会が開催されました。
会場は都立光が丘公園陸上競技場および公園内周回道路。
代表選手6名で襷をつなぎます。
開進一中は男女2チームずつ4チームが参加しました。



結果 女子Aチーム 7位 入賞

4区間 2位 伊久間 七海さん 9'00"
6区間 3位 石井 奈緒さん 8'50"

男子Aチーム	男子Bチーム	女子Aチーム	女子Bチーム
乾 宗太郎君(2)	中馬 敦樹君(1)	佐藤 ららさん(2)	山田 椿さん(2)
甲斐 尊丸君(2)	山口 とわ君(1)	管 真央さん(2)	早坂 采子さん(2)
白井 優太君(2)	佐藤 佑真君(1)	高岩 紗愛さん(1)	M R さん(1)
原田 昂和君(2)	鈴木 健也君(2)	伊久間七海さん(1)	清水 真衣さん(1)
安藤 佑晟君(1)	宇井 大晴君(2)	岡田 楓花さん(2)	鈴木 里歩さん(2)
今道 耀翔君(2)	高野 竜太郎君(2)	石井 奈緒さん(2)	舛谷 菜帆さん(2)

第8回中学生「東京駅伝」

練馬区チームのメンバー

佐藤 ららさん、石井 奈緒さん がメンバーに選ばれました。

強化選手

安藤 佑晟君、伊久間 七海さん が来年の大会に向けて練習を開始します。

頑張っています！ ~部活動大会結果~

バスケット部(男子) 都大会3回戦進出

都大会	1回戦	対	私立海城中学校	70 - 45
	2回戦	対	文京区立第六中学校	56 - 43
	3回戦	対	世田谷区立世田谷中学校	44 - 75



ソフトテニス部 練馬区2年生大会

男子	優勝	結城・工藤 ペア
	準優勝	増子・荒川 ペア
女子	ベスト8	久保田・遠藤 ペア



バドミントン部 第10回バドミントン中学生1年生大会

女子ダブルス 準優勝 坂内華歩・村田玲美ペア

活躍を期待します

「東京都アスリート認定選手」 佐藤 ららさん(2年) 競技種目「トライアスロン」

*東京オリンピックに向けて選手を育てるプロジェクトです。

「陸上競技 強化指定選手」 小林 直樹君(2年) 競技種目「棒高跳び」

「東京都中学生オースタ-バスケットボール研修会選手」 町田 寛明君(1年)

平成28年度 中学生の「税についての作文」

日本税理士会連合会会長賞
3年5組 佐藤 美柚さん 「連携が育てる社会」

全国納税貯蓄組合連合会優秀賞
3年3組 坂巻 明日香さん 「税金の使い道について考える」

練馬東税務署長賞
3年3組 大矢 萌香さん 「私たちの暮らしと税金」



練馬区いじめ撲滅宣言

「あなたはそれでいいの？ いつか後悔する いじめた側も、いじめられた側も そして見過ごした側も」 1年 三浦 梨夏

「きっと後悔するから その前にやめよう！」 2年 今道 耀

「友達が多い方が絶対いいから。子供のころの友達との結びつきは将来かかせないから。今の自分の人との付き合い方を見直そう。勇気あるその行動に救われる」 3年 川内 悠暉

*練馬区いじめ一掃プロジェクトの取り組みの1つで、今年は「いじめ撲滅」についてみんなで考えました。各学年の代表作品です。

平成28年度 東京都教育委員会 防災標語コンクール
入選 黒岩 香衣さん(1年) 「皆で助け合い 一つの命を大切に」

平成28年度 明るい選挙ポスターコンクール

入選 村上 愛佳さん(2年) 小沢 真夕さん(2年)
志賀 優さん(2年) 鈴木 里歩さん(2年)
白澤 都さん(2年)

防災訓練

12月10日(土)に避難拠点連絡会が主催する「防災訓練」が行われました。生徒95名が参加して、簡易担架の作り方、AED操作訓練、消化器操作訓練、煙体験、起震車体験、ガスバナーの取り扱い訓練等を学びました。もし、災害が起きたときは中学生の力が必要です。「自助・共助」ができるようにしましょう。



ボランティア・ワーク

青少年育成第2地区委員会主催の各事業に、開進一中の生徒も中学生ボランティアとして参加し、地域の一員として力を発揮しています。

参加事業 ・きれいな町をつくろうデー ・工作と遊び ・遊ぼうデー
・第二地区祭 ・こども祭り ・リレー・カーニバル ・みんなの音楽会



校内人事異動

学校栄養補助員 和田 委子が11月30日で任期終了となりました。
12月1日より 学校栄養補助員 藤森 優子
臨時栄養補助員 高橋 恭子 の2人体制で対応いたします。

